

### サークル活動完了報告書

サークル名	続こんには赤ちゃん		発表者	上田 順子
			リーダー	上田 順子
部署	3階東病棟		サブリーダー	美能 香奈恵
活動期間	開始;平成24年7月2日 終了;平成25年2月28日		メンバー	上田 順子 美能 香奈恵 加藤 美和子 沖土居 純子 戸田 美和子 梶川 湖雪
会合状況	会合回数 15回 1回あたり会合時間 30分			
所属長/推進メンバー	加藤 美和子		所見欄	
レビュー担当者	(株)麻生 向野 早苗			

#### テーマ

満足度の高い授乳ケアの提供～母乳栄養確率への支援～

#### テーマの選定理由

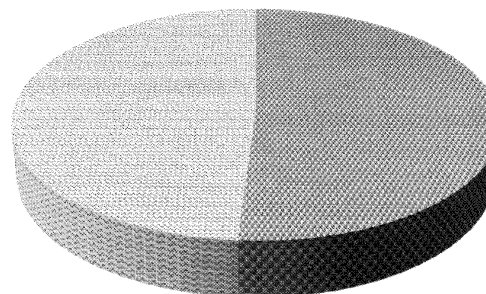
昨年度満足度の高い授乳ケアの提供の一つとして、バースプランの活用を行った。その結果、半数の母親がバースプランの導入が役に立ったと回答があった。しかし、課題として①バースプランの浸透継続が必要のため産婦人科外来と病棟との連携の強化を行うこと②バースプランを活用し助産師間の統一した指導を行うことがあげられた。

今年度、母親の満足度の高い授乳ケアの提供を行うために母乳支援グループを設立した。昨年度の結果からバースプランの見直し・修正を行い、バースプランの配布時にはバースプラン記述への説明を行う。入院時バースプランをみながら母親に授乳について確認を直接とる。また今回は母乳栄養希望の母親に焦点を絞り、バースプランを元に母乳支援グループが中心となり、助産師間で統一したケアを提供する。そのことで母親の授乳に対しての満足度がより向上できるようにしていきたい。

#### 現状把握

H24年7月1日から7月31日までに出産・入院された母乳栄養希望の初産婦 25人、経産婦 24人の合計 49人を対象に第1回目のアンケートをおこなった。

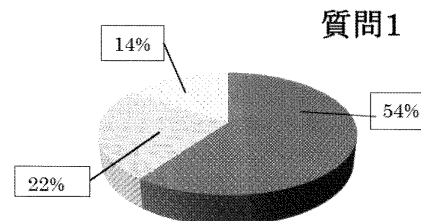
#### 母乳栄養希望の母親



- ※ 初産婦 25人
- ※ 経産婦 24人

#### \*質問1

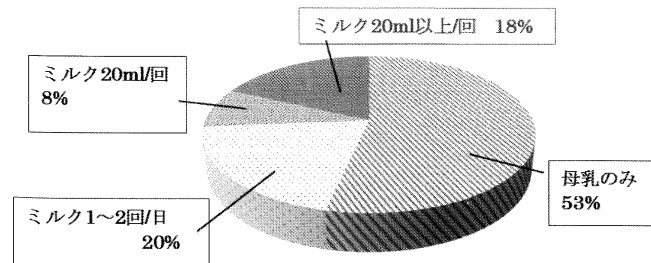
妊娠中に乳房や乳頭部のマッサージなど何らかのケアをしていましたか



- ケアをしていた
- ※ 特に何もしていない
- ※ 切迫・前置胎盤でできなかった

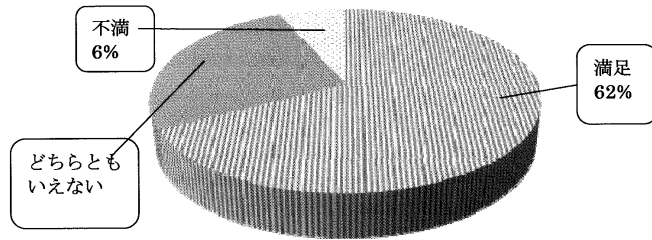
#### \*質問2

退院時の栄養方法について教えてください



**\* 質問 3**

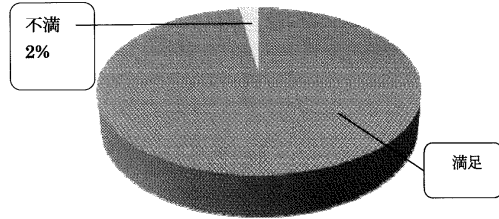
退院時の栄養方法に対する満足度を教えてください



この結果から妊娠中に母乳栄養を希望し妊婦自身で何らかのケアをしていた方、退院時に母乳のみで退院できた方の満足度が高い傾向にあった。

**\* 質問 4**

助産師の授乳指導に対する満足度を教えてください

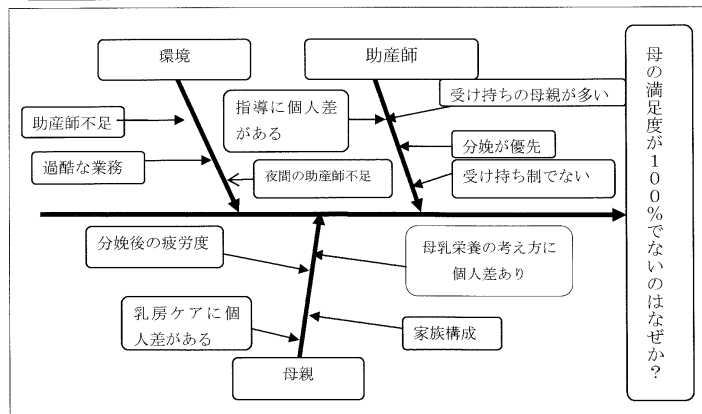


助産師の対応が丁寧で分かりやすかったという意見が多かった。一方不満に感じている人は、授乳時間や授乳方法をもう少し詳しく教えてほしいなどの意見があった。

**目標設定**

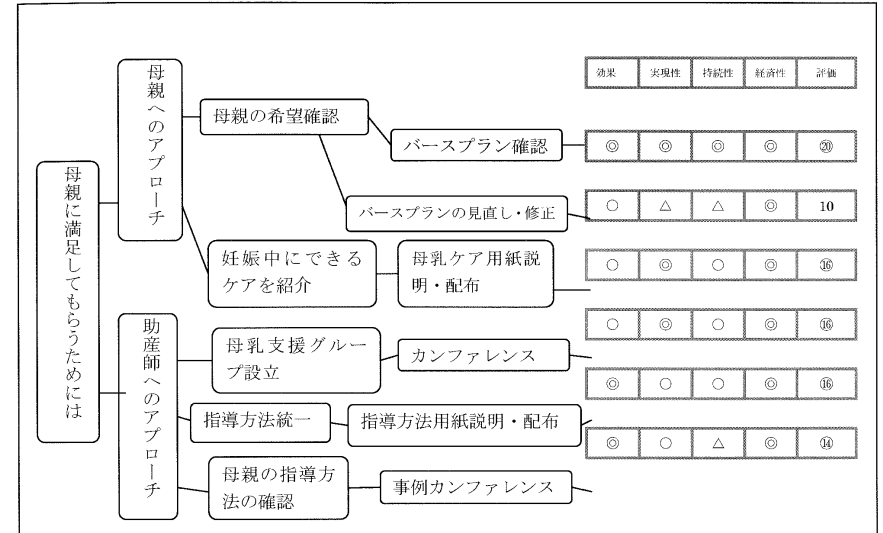
母乳栄養希望の母親の満足度が現状の62%を上回ることができる。

**要因解析**



**対策立案**

- ・ 母親学級で母親全員を対象に母乳栄養希望の母親へ妊娠中にできる母乳ケア用紙を説明、配布する
- ・ 産前にバースプランを配布し母乳栄養希望の母親に焦点を絞る
- ・ 助産師が統一したケアや指導ができるように段階毎にどのようなケアをおこなっていくかの資料を配布する。
- ・ 母乳育児支援グループを設立し、グループを中心に母乳栄養希望の母親へケア・指導をしていく。



◎5点 ○3点 △1点 14点以上を実施

**対策実施**

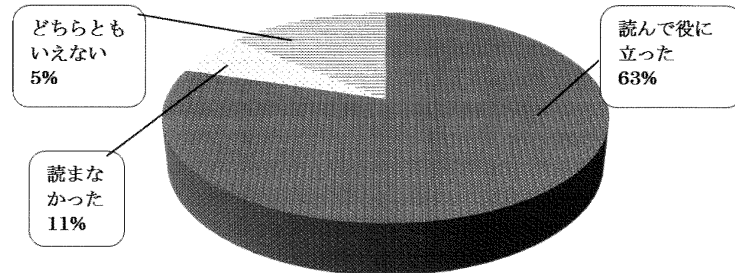
何を	いつ	どこで	誰が	どうする
バースプラン用紙回収	入院時	病棟	入院時受け持ち病棟助産師	母親が母乳栄養希望かどのようなケアを希望しているか把握する
母乳栄養を希望する母親に妊娠時の母乳ケアについての資料配布	母親学級	健診センター2階指導室	担当助産師	妊娠中に行える母乳ケアの用紙説明・配布
母乳育児支援グループ	H24年8月開始	病棟	病棟助産師4名	助産師指導方法用紙作成、カンファレンス
助産師の指導方法用紙配布	H24年9月開始	病棟	病棟助産師	助産師が統一したケアができるよう説明し配布する
母親への指導の見直し・事例カンファレンス	週1回	病棟	助産師	カンファレンス

**効果の確認**

H24年11月1日から30日、母乳栄養を希望する母親に母乳支援グループが中心となり助産師間で統一したケアや指導を行った効果を判定するため、初産婦16人、経産婦36人の合計52人を対象に第2回目のアンケートをおこなった。

**\*質問I**

妊娠中の母乳ケア用紙について読まれましたか

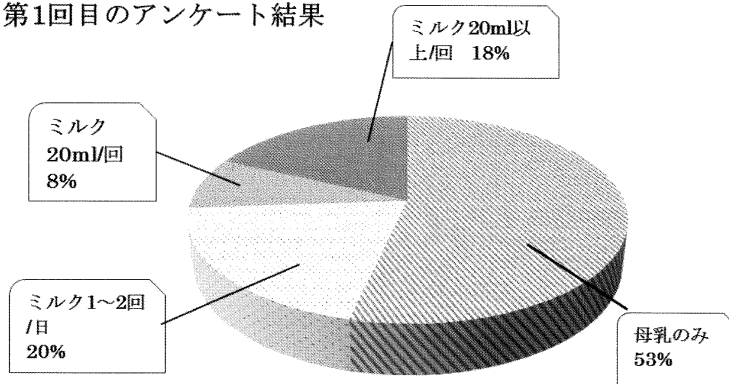


読んで役に立った人は母乳で育てたいので参考になった、読んだがどちらともいえない人は前回母乳でできたので、読まなかった人は読むのを忘れていたや上の子の育児で母親学級に参加できていないなどの意見があった。

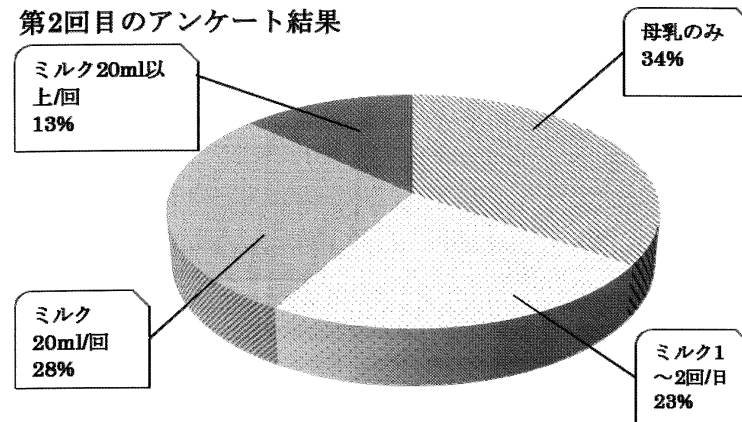
**\*質問II**

今回の退院時の栄養方法に対して教えてください

**第1回目のアンケート結果**



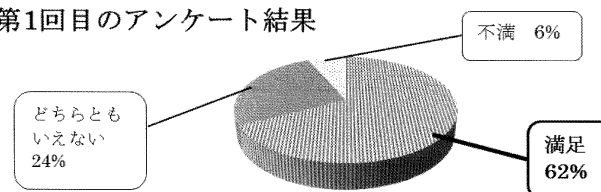
**第2回目のアンケート結果**



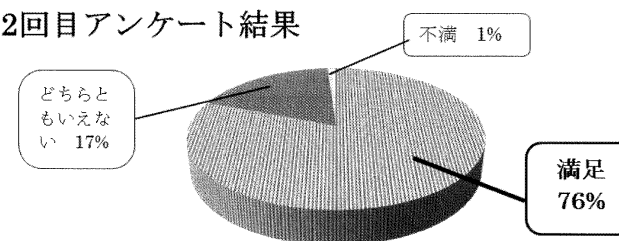
**\*質問III**

退院時の栄養方法についての満足度を教えてください

**第1回目のアンケート結果**



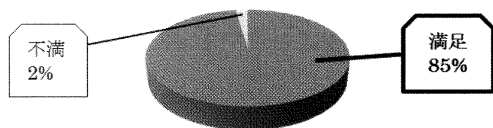
**第2回目アンケート結果**



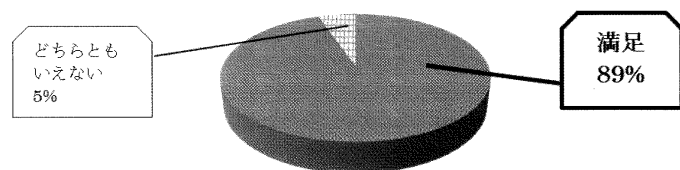
\* 質問Ⅳ

助産師の授乳指導に対する満足度を教えてください

第1回目アンケート結果



第2回目アンケート結果



以上の結果より、退院時の栄養方法が母乳のみであった母親の割合は減少した。しかし、母親の母乳栄養の満足度は現状の62%から76%と増加し、目標は達成できた。

標準化

何を	いつ	どこで	誰が	どうする
パースプラン回収	入院時	病棟	病棟助産師	母親が母乳栄養希望かどのようなケアを希望しているか把握する
妊娠中の母乳ケアの用紙配布	母親学級	健診センター2階指導室	担当助産師	妊婦に説明・配布
母乳育児支援グループ	母親の入院中・退院後	病棟	母乳育児支援グループの助産師	母親の問題点を入院中や退院後も継続的に観察していく
助産師の指導方法説明用紙	新人指導時・中途採用助産師	病棟	担当助産師	助産師が統一した授乳指導をしていく
事例カンファレンス	月1回	病棟	病棟助産師	事例カンファレンス
授乳指導	母親の入院中	授乳室・病室	病棟助産師	担当助産師が母親の授乳方法について母親と相談しながら指導する

まとめと今後の課題

まとめ

今回のアンケート結果として、母親の母乳育児の満足度が現状の62%から76%と上回ることができた。また、助産師への満足度も現状の85%から89%と上回ることができた。

その要因として、

- 1、母親学級の時に母乳ケア用紙の説明・配布し妊娠中も母親自身でケアできるように支援したこと
- 2、助産師の指導方法用紙を配布し、病棟助産師が統一した指導をおこなったこと
- 3、母乳育児支援グループを設立し、グループが中心となって母親に指導したこと
- 4、母乳栄養を不安に感じている母親に対し母乳育児支援グループが中心に介入し、入院中だけでなく退院後の状況把握などを行い継続的に支援したこと
- 5、毎週事例カンファレンスを行うことで、母親が入院中に介入しケアすることができたこと
- 6、パースプランを活用して入院中に母乳栄養について母親と細かく相談し、より希望にそったケアが提供できるようにした。

今回、母乳栄養希望の母親の満足度向上を目的に助産師全員で援助を行った。今回のアンケート結果から助産師間で支援への意識が高まり取り組むことができた。

課題

母乳ケア用紙や助産師指導方法用紙は最低1年に1回は見直し、改定していく必要がある。